

広域消防の沿革

昭和53年（1978年）

- 1 月 昭和50年10月の鳥取県東部開発促進協議会での広域消防計画最終決定に基づき構成市町村（鳥取市、岩美町、福部村、国府町、青谷町、気高町、鹿野町、智頭町、若桜町、佐治村、用瀬町、八東町、船岡町、河原町、郡家町）協定書の締結
- 3 月 組合規約の変更について各市町村議会議決
- 4 月 1 日 鳥取県指令受地 4 第 1 号により知事許可
自治省告示第60号により政令指定
- 5 月 1 日 **組合消防として発足、初代消防局長に林昭氏就任**
鳥取市消防職員93名を組合消防職員に任命
鳥取市が所有する消防本部、消防署及び出張所の敷地は無償貸与、庁舎、車両、通信施設、庁用備品等は無償譲渡され組合消防業務を開始
消防職員の定員242名
湖山石油基地の石油企業等が相互に初期防災活動を積極的に協力することにより災害等の拡大を防止するため、湖山基地専用協議会会員並びに日本通運株式会社と「湖山基地防災相互援助協定」を締結
- 7 月 5 日 昭和53年採用職員（84名）3ヶ月間の教育訓練を実施
- 10 月 1 日 **岩美、八頭、気高の3消防署及び青谷出張所の庁舎が完成し業務開始**
職員83名を採用し配置するとともに各署所に査察広報車、ジープ車、普通ポンプ車、救急車を各1台配備及び吉方出張所、湖山消防署へ水槽付ポンプ車を配備



初代消防局長 林 昭氏

【主な災害】

- 12月11日 建物火災
鳥取市中村工場2棟、工場全焼



日本海新聞
昭和53年12月12日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和54年（1979年）

- 4月1日 消防職員定員240名
- 7月2日 昭和54年度採用職員（69名）3ヶ月間の教育訓練を実施
- 10月1日 智頭、若桜、用瀬出張所及び国府分遣所の庁舎が完成し業務開始
職員69名を採用し配置するとともに出張所に査察広報車、ジープ車、普通ポンプ車、救急車を各1台、分遣所にジープ車1台を配備及び鳥取消防署にジープ車1台を配備

昭和55年（1980年）

- 2月28日 鳥取消防署に救急車1台配備
- 3月13日 岩美消防署に救急車1台配備（鳥取消防署から岩美消防署へ）
- 5月16日 警防課に指揮車配備
- 5月23日 消防局にマイクロバス配備
- 8月19日 財団法人日本消防協会から指令車の寄贈を受け鳥取消防署に配備
- 10月1日 119番消防通報用電話の集約を図り、B型救急指令装置を導入

【主な災害】

- 5月12日 建物火災
八頭郡河原町郷原 3名焼死



日本海新聞
昭和55年5月13日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和56年（1981年）

- 1月29日 湖山消防署に救急車1台配備
- 7月1日 2代消防局長に徳永眞志氏就任
昭和56年度採用職員（23名）3ヶ月間の教育訓練を実施
- 9月1日 鳥取県東部広域行政管理組合に隣接する中部広域行政管理組合と
「鳥取県東部・中部広域消防相互応援協定」を締結
- 9月28日 湖山消防署に化学車1台配備
- 10月1日 昭和56年度採用職員23名を採用し配置
- 12月25日 鳥取消防署に救急車1台配備



2代消防局長 徳永眞志氏

昭和57年（1982年）

- 1月29日 毛無山無線中継局が開局し東部広域圏の無線不感地帯を解消
- 8月25日 鳥取消防署に救急車1台配備
- 10月5日 湖山消防署に普通ポンプ車1台配備
- 10月29日 ㈱日本損害保険協会から救助工作車（Ⅱ型）の寄贈を受け鳥取消防署に配備

【主な災害】

- 4月30日 米軍機墜落
鳥取市安蔵 高山山中 死傷者4名



日本海新聞
昭和57年5月1日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和58年（1983年）

- 4月1日 3代消防局長に坂本幸春氏就任
- 5月12日 鳥取県東部広域行政管理組合と隣接する津山圏域消防組合と
「黒尾トンネル消防相互応援に関する協定」を締結
- 5月23日 鳥取県東部広域行政管理組合と隣接する英田圏域消防組合と
「新志戸坂トンネル消防相互応援に関する協定」を締結
- 7月15日 鳥取県東部広域行政管理組合と隣接する美方郡広域消防事務
組合と「消防業務の相互応援に関する協定」を締結
- 8月18日 鳥取消防署に指令広報車1台配備
- 9月1日 鳥取県東部広域行政管理組合と隣接する宍粟広域消防事務組合と「消防業務の相互応援に関
する協定」を締結
- 11月1日 鳥取県東部広域行政管理組合消防局と構成市町村における消防活動の円滑な実施を図るため
「鳥取県東部広域消防協定」を締結
- 11月24日 東町出張所にジープ車1台配備



3代消防局長 坂本幸春氏

【主な災害】

- 12月1日 建物火災
鳥取市吉岡温泉町 庫裡他3棟
死傷者2名



日本海新聞
昭和58年12月2日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和59年（1984年）

- 1月27日 岩美消防署に救急車1台配備
- 4月2日 昭和59年度採用職員（6名）初任教育のため6ヶ月間県消防学校に派遣（期間4月5日～9月28日まで）
- 10月1日 昭和59年度採用職員6名を各所属に配置
- 10月12日 自動車専用消防通報用電話を設置
- 12月5日 広域災害時における情報連絡体制の充実、強化を図るため、鳥取県防災行政無線端末装置を配備
- 12月12日 自動車電話（アナログ方式）から119番通報の接続を開始

【主な災害】

2月18日 浦富小学校火災
岩美郡岩美町浦富 校舎3棟全焼

4月19日 建物火災
鳥取市古海 住宅1棟全焼 3名焼死



日本海新聞
昭和59年2月19日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料



日本海新聞
昭和59年4月20日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和60年（1985年）

- 2月3日 (社)日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け青谷出張所に配備
- 4月1日 鳥取県東部広域行政管理組合と隣接する津山圏域消防組合及び英田圏域消防組合と「消防相互応援協定」を締結し、昭和58年5月12日締結の「黒尾トンネル消防相互応援に関する協定」並びに昭和58年5月23日締結の「新志戸坂トンネル消防相互応援に関する協定」は廃止
- 7月2日 鳥取空港が拡張整備されたことに伴い、昭和53年に締結した協定の見直しがされ新たに鳥取県と「鳥取空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」を締結し、昭和53年5月1日の締結の協定は廃止
- 11月7日 東町出張所の水槽付ポンプ車（1.5 t）を更新配備

昭和61年（1986年）

- 3月26日 (社)日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け、気高消防署に更新配備
- 8月20日 (財)日本消防協会から救急車の寄贈を受け、岩美消防署に更新配備
- 11月18日 鳥取消防署の水槽付消防ポンプ車（2.5 t）を更新配備
- 11月21日 (社)日本防火協会から防火広報車（ワゴン車）の寄贈を受け、予防課に配備
- 12月25日 (財)日本宝くじ協会から連絡2号車の寄贈を受け、庶務課に更新配備

【主な災害】

- 4月4日 建物火災
鳥取市立川町
住宅3棟 2名焼死



日本海新聞
昭和61年4月5日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

11月8日 建物火災 岩美郡岩美町洗井
住宅全焼 2名焼死



日本海新聞
昭和61年11月9日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和62年（1987年）

- 4月1日 4代消防局長に谷口進氏就任
昭和62年度採用職員6名を採用し配置
(4月3日から6ヶ月間初任教育のため県消防学校に派遣)
- 10月1日 東部広域消防緊急情報システム導入準備室を警防課内に設置



4代消防局長 谷口 進氏

【主な災害】

- 3月16日 建物火災
八頭郡郡家町稲荷
工場2棟全焼



日本海新聞
昭和62年3月18日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

10月16日～17日 台風19号



日本海新聞
昭和62年10月18日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

昭和63年（1988年）

- 2月6日 (財)消防科学総合センター（救急基金）から救急車の寄贈を受け
八頭消防署に更新配備
- 4月1日 5代消防局長に谷口憲雄氏就任
- 8月19日 (財)日本消防協会から指揮車の寄贈を受け湖山消防署に更新配備
- 9月7日 庶務課に連絡3号車(軽自動車)を配備



5代消防局長 谷口憲雄氏

【主な災害】

- 12月21日 工場火災
鳥取市寿町 工場2棟全焼



日本海新聞 昭和63年12月23日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

平成元年（1989年）

- 1月17日 財日本自動車工業会から救急車の寄贈を受け智頭出張所に更新配備
- 3月20日 消防局・鳥取消防署新庁舎完成
消防緊急情報システム完成
- 3月30日 湖山消防署に屈折はしご付ポンプ車（15m級）を更新配備
- 4月1日 中部広域行政管理組合並びに鳥取県西部広域行政管理組合と「鳥取県下広域消防相互応援協定」を締結し昭和56年9月1日締結の「鳥取県東部・中部広域消防相互応援協定」は廃止
沿岸区域における船舶の火災について、円滑に消火活動を行うために、網代海上保安署と「消防業務協定」を締結
- 4月11日 鳥取消防署新庁舎に移転、業務開始



日本海新聞
平成元年4月12日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

- 4月30日 新庁舎及び消防緊急情報システム竣工式
- 7月1日 消防局新庁舎に移転、業務開始
- 8月28日 財日本消防協会から救急車の寄贈を受け若桜出張所に更新配備
- 11月29日 庶務課の連絡1号車を更新配備

平成2年（1990年）

- 2月20日 吉方出張所の普通ポンプ車を更新配備
- 3月29日 青谷出張所新庁舎に移転、業務開始
- 4月2日 平成2年度採用職員3名を採用し配置（4月5日から6ヶ月間初任教育のため県消防学校に派遣）
- 12月19日 社日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け用瀬出張所に更新配備

【主な災害】

8月19日 繁華街建物火災
鳥取市弥生町 住宅7棟
負傷者3名



日本海新聞
平成2年8月20日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

11月17日 セスナ機墜落
鳥取市布勢 3名死亡



日本海新聞
平成2年11月18日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

平成3年（1991年）

3月11日 鳥取消防署の普通ポンプ車を水槽付（0.9t）に更新配備
4月1日 平成3年度採用職員6名を採用し配置（4月5日から6ヶ月間初任教育のため県消防学校に派遣）
8月27日 岩美、八頭及び気高消防署の査察広報車を更新配備
8月29日 鳥取消防署の救急車を更新配備

【主な災害】

11月2日 交通事故 八頭郡船岡町橋本
通学途中普通乗用車にはねられた
死者3名



日本海新聞
平成3年11月3日掲載
鳥取県立図書館所蔵資料

平成4年（1992年）

- 1月23日 岩美、八頭消防署のジープ車を普通ポンプ車に更新配備
 (社)日本自動車工業会から救急車の寄贈を受け湖山消防署に更新配備
- 4月1日 **6代消防局長に谷澤収氏就任**
 消防職員の定員249名
 平成4年度採用職員8名を採用（4月2日から6ヶ月間初任教育のため県消防学校に派遣）
 仮眠用寝具のリースを導入
- 8月17日 (社)日本損害保険協会から水槽付ポンプ車（1.5t）の寄贈を受け湖山消防署に更新配備
- 8月18日 (財)日本消防協会から査察広報車の寄贈を受け予防課に更新配備
- 8月28日 予防課、鳥取消消防署及び青谷出張所の査察広報車を更新配備
- 9月1日 週40時間勤務体制に移行
- 12月14日 鳥取消消防署のはしご付ポンプ車をはしご付消防車に更新配備
- 12月22日 (財)日本消防協会から救急車の寄贈を受け鳥取消消防署に更新配備
 青谷出張所の救急車を更新配備（防振ストレッチャー及び救急処置拡大に伴う9項目の資機材を搭載）
- 12月25日 湖山、岩美、八頭及び気高消防署の救急車に救急処置拡大に伴う9項目の資機材を搭載



6代消防局長 谷澤 収氏

【主な災害】

- | | | | |
|-------|---------------|-------|--------------|
| 1月16日 | 交通事故 | 1月21日 | 建物火災 |
| | 岩美郡岩美町蒲生 | | 鳥取市新品治 寺1棟全焼 |
| | 車4台の衝突事故 死者3名 | | 1名焼死 |



日本海新聞 平成4年1月17日掲載
 鳥取県立図書館所蔵資料



日本海新聞
 平成4年1月22日掲載
 鳥取県立図書館所蔵資料